

# 令和 5年度予算見積調書(5月補正予算 (第1号))

課室名: 農産物安全課  
 担当名: 農薬・植物防疫担当  
 内線: 4054

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
p2	地域内資源由来肥料利用拡大事業		一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	肥料コスト低減対策費	
事業期間	令和 5年度	根拠法令	なし		針路	02 県民の暮らしの安心確保	SDGsゴール	2, 12
					分野施策	0204 食の安全・安心の確保	SDGsターゲット	2-4, 12-2, 12-4, 12
1 事業概要	食品残さや家畜排せつ物等の地域内資源由来肥料の活用を進める取組を、肥料製造業者等が実施するために必要な施設や機械類の導入(機能向上を伴う更新・修繕を含む)を支援する。		5 事業説明					
	ア 施設・機械等の導入補助 145,000千円 イ 推進事務費 250千円		(1) 事業内容		ア 施設・機械等の経費補助 145,000千円 地域内資源由来肥料の活用を進める取組を実施するために必要な施設・機械等の経費補助を行う。(補助率1/2以内)			
			イ 推進事務費 250千円		イ アの事業実施のための県事務費			
2 事業主体及び負担区分	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金)(国1/2、県0) 事業者1/2		(2) 事業計画		ア 交付要綱等の作成(5月)、申請・審査・交付決定(6月～9月)、実績報告・検査確認(10月～2月) イ 事業周知に係る資料作成、事業説明会の開催等			
3 地方財政措置の状況	なし		(3) 事業効果		<ul style="list-style-type: none"> <li>食品残さや家畜排せつ物などの地域内資源に由来した肥料の利用が進む。</li> <li>地域内資源を利用した、安価で農業者が利用しやすい肥料への転換が進み、国際情勢に左右されにくい農業生産が実現する。</li> <li>みどりの食料システム戦略の目標である化学肥料使用量低減(2050年までに30%低減)の達成に向けて取組が進む。</li> </ul>			
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×2人=19,000千円		(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況		食品バイオマス資源循環推進研究協議会、JAグループと連携して、事業を円滑かつ効率的に実施。			
予算額			財源内訳				一般財源	補正後の予算額
決定額	145,250	145,250					0	145,250
現計額	0						0	

## 事業内訳書

事業名	地域内資源由来肥料利用拡大事業		
単位事業名	施設・機械等の経費補助	予算額	145,000千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 農業費補助金	145,000	—	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 補助率 定額
合計	145,000	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	145,000	—	地域内資源由来肥料製造のための施設・機械への補助金 堆肥プラント等 20件分
合計	145,000	—	

単位事業名	推進事務費	予算額	250千円
-------	-------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 農業費補助金	250	—	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 補助率 定額
合計	250	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	50	—	資料作成代
役務費	100	—	資料送付代
使用料及び賃借料	100	—	説明会会場賃借料 4回分
合計	250	—	